

# 事業報告書

## 【沖縄女子短期大学「デート DV や女性の健康について考える」】

日時	平成 31 年 12 月 12 日 (木) 13:00~14:30
対象	沖縄女子短期大学 児童教育学科 1 年生
講師	垣花 みち子 (公益財団法人おきなわ女性財団 常務理事)
会場	沖縄女子短期大学 本学大教室
参加数	165 名
講演内容 (概要)	<p>沖縄女子短期大学にて、1 年生を対象にデート DV や女性の健康についての出前講座を行った。パワーポイント資料を使用した講演。</p> <p>まず DV の種類、暴力以外にも精神的、性的、経済的な暴力があることを説明しその関係は力と支配によって行われることを話した。デート DV に関する法律はあるが、法は事件が起こってからしか動けないので 1 番大切なのは「予防」。被害にあわないようにするのではなく、加害をさせないようにすること。被害者に非はなく悪いのは加害者ということを強調した。今回は女性の学生が多かったので性感染症や妊娠のリスクについての話も詳しく行った。「自分らしい価値観をみつけ、お互いが尊重できる対等な素敵な関係を築いてください」また「もし友達から相談をうけたらまずは話を聞いてください」と呼びかけた。</p> <p>また、最近全国で「梅毒」の感染者が増えていることも伝え、中学・高校生の頃から注意されていると思うが性行為の時には今度コンドームを着用すること、自分の身体は自分しか守れないことを、セックスや性感染症のことを普段からパートナーと話しましょう。と再度呼びかけた。</p> <p>【資料項目】・DV とは ・交際相手からの暴力被害経験 ・暴力の種類 ・デート DV3 つのサイクル ・力と支配 ・暴力の容認 ・性別による偏見 ・デート DV に関する法律 DV 防止法 ・ストーカー規制法 ・リベンジポルノ被害防止法 ・忘れないでください! ・どうしたらいいの? ・被害者に落ち度はありません ・性感染症からのリスク</p>
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DV とデート DV の違いを知ることができました。DV やデート DV をもし受けた時の相談窓口などをあまり知らないのもしものためにも調べておきたいと思いました。自分の身は自分しか守れないなと改めて感じました。</li> <li>・法律は事件が起こってからしか動けないと知って、事件が起こる前に自分の身は自分で守らなければと思いました。</li> <li>・「男の子でしょ」「女の子なんだから」という言葉はよく聞くけれど、この言葉が偏見の一種に入るということを初めて知りました。最近は男女平等になってきているので、このような性別で分けるような言い方はよくないのだと考えました。デート DV なのか DV でないのかをしっかりと判断できるようになる必要があると感じました。</li> <li>・暴力行為をようにしてしまうことでよりエスカレートにつながる悪循環を生むとおもうのでお互いの関係や起きている事実を第三者の視点から見つめることが必要だと思った。どんなに良いように言葉を言い換えても犯罪は犯罪なので、「いやだ」「NO」と断る勇気をみんなが持つことが被害拡大の防止になると思った。</li> <li>・DV (デート DV)、性感染症について、本当にたまにしか講話を聞いたりする機会がなく、知識も全然ないので、この授業を機に知識を深め、もし被害者になってしまったら、自分からどこかに助けを求められるようになりたいと思いました。</li> </ul>
主催	沖縄県・公益財団法人おきなわ女性財団